

目次

	Page
日本の読者への挨拶 -----	1
Roger Bacon, OpusMajus -----	2
目次 -----	3
図のリスト -----	5
序文 -----	6
序論 -----	7
1 知られている事実 -----	8
1.1 手稿の発見 -----	8
1.2 手稿の歴史 -----	9
2 問題解決への道：その調査 -----	11
2.1 手稿の歴史に関する推量 -----	11
2.2 著者、そして目的 -----	14
2.2.1 捏造、偽造、ナンセンス？ -----	14
2.2.2 誰が何を目的にそれを書いたのか？ -----	16
2.3 出所、元になった言語 -----	17
2.4 制作年代 -----	18
3 解読への道：絵 -----	21
3.1 絵と文章の関係 -----	21
3.2 絵の性質と特徴 -----	21
3.2.1 起源とスタイル -----	22
3.2.2 羊皮紙とインク -----	23
3.2.3 他のいくつかの、絵が描かれたマニスクリプトとの関係 -----	23
3.3 絵を内容で分類する -----	25
3.3.1 草本植物の絵 -----	25
3.3.2 薬草の絵 -----	28
3.3.3 占星及び天体図 -----	28
3.3.4 宇宙そして気象図 -----	31
3.3.5 人間を特徴とした図 -----	34
3.3.6 ロゼットのネットワーク f85-86r3-4, v1-2 -----	36
3.3.7 欄外に描かれた小さな絵 -----	36
3.4 全体として絵の集合を捉えたときの意味 -----	37
4 解読への道：文章 -----	39
4.1 ヴォイニッチ文字の性質と特徴 -----	39
4.1.1 起源と様式 -----	39
4.1.2 既知の文字やアルファベットとの類似 -----	39
4.1.3 記号を要素へと分解する試み -----	40
4.1.4 様々に装飾された記号 -----	41
4.2 他の文字と筆記者 -----	42
4.3 解読の「鍵」のように見える文字列 -----	44
4.4 暗号解読そして文体から文章の解読を試みる -----	45
4.4.1 どんな理論によっても説明されなければならない本文の現象 -----	46
4.4.2 暗号解読法仮説 -----	47
5 主な解読の主張 -----	52
5.1 Newbold -----	52
5.1.1 ラテン語の文章の暗号 -----	52
5.1.2 速記暗号 -----	53
5.2 Feely -----	55
5.3 Strong -----	56
5.4 Brumbaugh -----	57
6 重要な分析努力の歴史 -----	61
6.1 ヴォイニッチ手稿はどのように研究されてきたのか -----	61

6.2	First Voynich Manuscript Study Group, 1944-46	63
6.3	Theodore C. Petersen	64
6.4	Second Voynich Manuscript Study Group, 1962-1963	65
6.5	William F. Friedman	65
6.6	John H. Tiltman	66
6.7	Jeffrey Krischer	68
6.8	Prescott Currier	70
6.9	コンピュータを使った方法に対するいくつかのコメント	70
7	付随的な調査：Roger Bacon	72
7.1	Roger Bacon の作品と彼についての研究	72
7.2	Bacon の生涯と著作	73
7.3	後の時代まで残った重要な Bacon の著作	74
7.4	Roger Bacon はヴォイニッチ手稿と関係があるのだろうか？	77
8	付随的な調査：中世、ルネサンスの宇宙論と図象学	79
8.1	Ars Memorativa: 記憶術	79
8.2	ヘルメス伝説	81
8.3	占星術、天文	83
8.4	魔術体系	84
8.4.1	Picatrix	84
8.4.2	Solomonian Magical Tradition	85
8.4.3	Abramelinian Magical System	85
8.4.4	John Dee の精霊魔術体系	86
8.5	ガレノス医学伝説	87
8.6	Ars Notoria: 悪魔、天使魔術	88
8.7	カバラ	88
8.8	錬金術	89
8.9	薔薇十字運動と John Dee	91
8.10	インド アラビア数字の歴史	93
8.11	中世・ルネサンス期の衣装	94
9	付随的な調査：人工・秘密言語	96
9.1	省略文字：速記の歴史	96
9.1.1	Characterie (Thomas Bright, 1588 年頃)	97
9.1.2	Brachygraphie (Peter Bales, 1590 年頃)	97
9.1.3	Stenographie (John Willis, 1602 年)	97
9.2	速記：初期暗号の歴史	98
9.3	Pasigraphy：普及及び人工言語	100
9.4	魔術・宗教上の言語、アルファベット	101
9.4.1	魔術言語	102
9.4.2	錬金術、医術、占星術アルファベット	102
9.4.3	神秘、宗教言語	103
9.4.4	John Dee のエノク語	104
10	付随的な調査：初期の草本書、薬草書	106
11	最終的な所見：さらなる調査のためのいくつかの提案	110
11.1	古文書学と手稿の科学的研究	110
11.2	手稿の歴史をさらに明らかにする	110
11.3	付随的な調査	111
11.4	十分な量の機械化された文章	111
11.5	科学的に仮説を作り、試す	111
	参考文献	158
	索引	171
	訳者あとがき	180